

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 ハークスレイ

コード番号 7561 URL <http://www.hurxley.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 青木 達也

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括部部长 (氏名) 佐子 弘和

TEL 06-6376-8088

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	41,385	—	609	—	602	—	101	—
20年3月期第3四半期	18,685	0.8	1,272	1.1	1,351	△36.9	△2,789	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	10.08	—
20年3月期第3四半期	△272.79	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	55,409	23,523	32.5	1,803.38		
20年3月期	30,179	18,873	60.5	1,807.19		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 18,008百万円 20年3月期 18,265百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
21年3月期	—	20.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,964	134.0	936	△37.0	934	△29.8	195	—	19.45

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

TRNコーポレーション株式会社、株式会社リン  
 新規 4社(社名 ク・ワン、TOKYO Capital 1号投資事業有限責任組合、TCVP4号投資事業組合) 除外 1社(社名 株式会社リンク・ワン)

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照下さい。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)をご参照下さい。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 11,025,032株 20年3月期 11,025,032株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,038,806株 20年3月期 918,052株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 10,027,504株 20年3月期第3四半期 10,223,910株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準提要指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見直し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競争状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要素により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、国際的な金融不安・信用不安が実需経済に波及、混迷の度合いを深めてきました。消費者のマインドが悪化する中、食に対する安心・安全及びリーズナブルなものへ、その志向を強めております。また、不動産・建築分野におきましても、バブル経済崩壊時と同様の混乱の中にあります。

このような事業環境の中、持ち帰り弁当事業部門では、事業領域の拡大を契機にロゴの刷新、拠点の充実および顧客満足度の向上を推進してまいりました。一方、店舗委託事業部門等では、事業の再編を通じ、経営の効率化と間接コストの削減に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は413億85百万円（※前年同期比121.5%増）、営業利益6億9百万円（※前年同期比52.1%減）、経常利益6億2百万円（※前年同期比55.4%減）、四半期純利益1億1百万円（※前期は四半期純損失27億89百万円）を計上いたしました。

※前年同期比は参考としてご参照ください。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①持ち帰り弁当事業

来店客数のアップ、また、お弁当の価格帯の幅を広げ、内容のブラッシュアップを通じ、消費者の多様なニーズへの対応と顧客層の幅を広げるよう努めて参りました。また、連結子会社である株式会社ほっかほっか亭総本部による全国への拠点網・店舗数の拡大を推進しております。

持ち帰り弁当事業の売上高は265億62百万円、営業利益は13億37百万円となりました。

#### ②店舗運営事業

店舗運営事業におきましては、安定した顧客基盤を有しております。業務委託型店舗につきましては、今後も安定した増加が見込まれ、当社グループにおける主要事業として売上・利益に今後寄与する予定です。

店舗運営事業の売上高は、146億12百万円、営業利益は1億33百万円となりました。

#### ③店舗不動産事業

店舗不動産事業については、賃料収入を確保しつつ、売却のタイミングを図る予定です。

店舗不動産事業の売上高は2億73百万円、営業利益は88百万円となりました。

#### ④店舗コンサルティング事業

店舗コンサルティング事業におきましては、新規業態の開発や店舗再生コンサルティングに注力しましたが、原材料の高騰等の影響により、保有している直営店部門の利益率の悪化が業績に影響を与えることとなりました。

店舗コンサルティング事業の売上高は17億84百万円、営業損失は1億1百万円となりました。

#### ⑤プライベート・エクイティ事業

プライベート・エクイティ事業におきましては、サブプライムローン問題による金融環境の激変により保有株式の売却の遅れ及び引当金の積み増しを行っております。

プライベート・エクイティ事業の売上高は1億88百万円、営業損失は3億69百万円となりました。

#### ⑥その他の事業

店舗総合サービス事業におきましては、第2四半期連結会計期間より与信管理を中心とした事業に転換した為に、前第3四半期連結会計期間に比して減収となりました。

フレッシュベーカリー事業におきましては、既存商品のリニューアルを行い、品質・商品価値の向上に努めると共に、新商品としてオリジナルのシュークリーム生地を使用したベイクドシュードーナツ「エンジェルシュシュ」、チョコを包んだオリジナルドーナツ「ドルチェ・チョコベニエ」を新規発売し好評をいただきました。

その他の事業の売上高は58億43百万円、営業利益は1億54百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ252億29百万円増加し554億9百万円となりました。主にTRNコーポレーション株式会社の連結子会社化による流動資産、固定資産の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ205億79百万円増加し318億86百万円となりました。主にTRNコーポレーション株式会社の連結子会社化による流動負債、固定負債の増加によるものです。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ46億50百万円増加し235億23百万円となりました。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べ3.81円減少し1,803.38円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の60.5%から28.0ポイント低下し32.5%となりました。

### キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、第2四半期連結会計期間末と比べ8億90百万円減少し、また前連結会計年度末と比べ1億66百万円減少して、80億76百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間における税金等調整前四半期純利益が1億93百万円、減価償却費5億65百万円、売上債権の減少額4億1百万円となったこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローは、7億20百万円の収入となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、14億69百万円の収入となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間における有形固定資産の取得による支出7億63百万円となったこと等により、投資活動によるキャッシュ・フローは、14億89百万円の支出となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、10億18百万円の収入となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間における長期借入れによる収入18億円となる一方で長期借入金の返済による支出13億62百万円により、財務活動によるキャッシュ・フローは1億21百万円の支出となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、26億54百万円の支出となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、本日別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

持分法適用関連会社であった株式会社リンク・ワンは、平成20年11月17日払込の第三者割当増資により当社グループの同社に対する持分比率が低下したため、株式会社リンク・ワン及び同社子会社である3社を持分法適用関連会社から除外しております。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (簡便な会計処理)

#### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定する方法によっております。

#### ③ 法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定につきましては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性につきましては、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、第1四半期連結会計期間(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)から、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日 内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を早期に適用しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる影響はありません。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

当社の機械装置については、従来、耐用年数を7～16年としておりましたが、第1四半期連結会計期間より8～10年に変更しました。この変更は、法人税法の改正に伴うものです。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,076,759	8,243,376
受取手形及び売掛金	3,845,522	1,691,298
有価証券	404,222	—
たな卸資産	—	830,543
商品及び製品	1,018,612	—
原材料及び貯蔵品	83,090	—
繰延税金資産	122,810	138,229
その他	3,739,999	297,909
貸倒引当金	△112,778	△9,298
流動資産合計	17,178,239	11,192,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	※1, ※2 10,065,193	※1, ※2 3,188,957
機械装置及び運搬具(純額)	※1 148,921	※1 168,825
工具、器具及び備品(純額)	※1 1,504,447	※1 280,743
土地	※2 11,667,652	※2 4,725,209
建設仮勘定	301,996	—
有形固定資産合計	23,688,212	8,363,735
無形固定資産		
のれん	2,008,824	1,703,407
その他	139,858	103,634
無形固定資産合計	2,148,683	1,807,042
投資その他の資産		
投資有価証券	2,593,911	6,505,461
長期貸付金	482,706	145,249
差入保証金	6,786,635	1,554,405
繰延税金資産	1,056,266	352,288
その他	2,379,195	288,470
貸倒引当金	△904,406	△28,870
投資その他の資産合計	12,394,308	8,817,005
固定資産合計	38,231,204	18,987,782
資産合計	55,409,443	30,179,841

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,888,389	2,740,696
短期借入金	※2 3,330,000	※2 3,000,000
1年内返済予定の長期借入金	※2 5,845,856	※2 1,087,996
未払金	1,740,006	—
未払法人税等	264,324	406,364
未払消費税等	155,770	56,866
賞与引当金	139,277	169,082
債務保証損失引当金	50,000	—
その他	1,817,936	642,726
流動負債合計	17,231,561	8,103,732
固定負債		
社債	150,000	—
長期借入金	※2 10,885,306	※2 1,737,343
退職給付引当金	29,618	32,746
負ののれん	280,497	—
長期預り保証金	2,650,652	1,110,172
繰延税金負債	295,675	91,670
その他	362,908	231,040
固定負債合計	14,654,659	3,202,973
負債合計	31,886,220	11,306,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,886	3,930,886
利益剰余金	11,639,511	11,787,922
自己株式	△1,514,429	△1,359,154
株主資本合計	18,092,617	18,396,304
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△83,638	△131,065
評価・換算差額等合計	△83,638	△131,065
新株予約権	33,476	—
少数株主持分	5,480,766	607,896
純資産合計	23,523,222	18,873,135
負債純資産合計	55,409,443	30,179,841

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	41,385,115
売上原価	31,412,884
売上総利益	9,972,230
販売費及び一般管理費	※1 9,362,779
営業利益	609,451
営業外収益	
受取利息	53,919
受取配当金	7,620
投資有価証券売却益	23,085
受取賃貸料	126,556
負ののれん償却額	47,532
業務委託契約解約益	102,406
匿名組合投資利益	36,705
その他	106,403
営業外収益合計	504,231
営業外費用	
支払利息	200,817
投資有価証券売却損	57,581
賃貸費用	30,824
店舗敷金償却	19,472
持分法による投資損失	20,864
業務委託契約解約損	110,638
その他	70,765
営業外費用合計	510,964
経常利益	602,718
特別利益	
固定資産売却益	6,364
貸倒引当金戻入額	6,446
関係会社株式売却益	159,845
その他	33,954
特別利益合計	206,611
特別損失	
固定資産除却損	160,127
投資有価証券評価損	415,324
減損損失	25,634
のれん償却額	290,426
貸倒引当金繰入額	128,432
債務保証損失引当金繰入額	50,000
その他	49,376
特別損失合計	1,119,321
税金等調整前四半期純損失(△)	△309,991
法人税、住民税及び事業税	554,233
法人税等調整額	△248,169
法人税等合計	306,063
少数株主損失(△)	△717,104
四半期純利益	101,049

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	17,032,913
売上原価	13,314,687
売上総利益	3,718,226
販売費及び一般管理費	※1 3,335,301
営業利益	382,924
営業外収益	
受取利息	25,004
受取配当金	1,296
投資有価証券売却益	72
受取賃貸料	43,339
負ののれん償却額	15,583
業務委託契約解約益	6,640
持分法による投資利益	10,772
金利スワップ評価益	15,637
その他	25,546
営業外収益合計	143,893
営業外費用	
支払利息	89,268
賃貸費用	5,943
店舗敷金償却	8,815
業務委託契約解約損	23,877
その他	17,917
営業外費用合計	145,822
経常利益	380,996
特別利益	
固定資産売却益	3,263
その他	6,750
特別利益合計	10,013
特別損失	
固定資産除却損	1,942
投資有価証券評価損	17,045
貸倒引当金繰入額	128,432
債務保証損失引当金繰入額	50,000
特別損失合計	197,420
税金等調整前四半期純利益	193,589
法人税、住民税及び事業税	244,411
法人税等調整額	△131,731
法人税等合計	112,679
少数株主損失(△)	△61,926
四半期純利益	142,835



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△309,991
減価償却費	1,270,406
のれん償却額	500,271
貸倒引当金の増減額(△は減少)	116,811
賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,523
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	50,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,128
受取利息及び受取配当金	△61,540
支払利息	200,817
為替差損益(△は益)	357
持分法による投資損益(△は益)	43,848
有形固定資産売却損益(△は益)	△6,364
固定資産除却損	160,127
減損損失	25,634
投資有価証券売却損益(△は益)	34,495
投資有価証券評価損益(△は益)	415,324
関係会社株式売却損益(△は益)	△159,845
売上債権の増減額(△は増加)	△584,974
たな卸資産の増減額(△は増加)	△230,584
仕入債務の増減額(△は減少)	988,594
未払消費税等の増減額(△は減少)	69,597
その他	△250,521
小計	2,218,813
法人税等の支払額	△752,526
法人税等の還付額	3,312
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,469,599</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
利息及び配当金の受取額	83,868
定期預金の預入による支出	△19,086
有形固定資産の取得による支出	△1,592,297
有形固定資産の売却による収入	310,533
有形固定資産の除却による支出	△14,347
無形固定資産の取得による支出	△82,986
投資有価証券の取得による支出	△12,447
投資有価証券の売却による収入	342,835
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	3,679,033
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△236,304
短期貸付金の増減額(△は増加)	△109,576
貸付けによる支出	△24,311
貸付金の回収による収入	41,728
保険積立金の払戻による収入	18,888
保証金の純増額	△809,263
その他	△557,579
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,018,689</b>

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
利息の支払額	△187,579
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,510,000
長期借入れによる収入	4,160,000
長期借入金の返済による支出	△2,556,657
社債の償還による支出	△76,700
少数株主からの払込みによる収入	99,000
自己株式の取得による支出	△157,428
配当金の支払額	△425,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,654,547
現金及び現金同等物に係る換算差額	△357
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△166,616
現金及び現金同等物の期首残高	8,243,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 8,076,759

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	持ち帰り 弁当事業 (千円)	店舗運営事業 (千円)	店舗不動産 事業 (千円)	店舗コンサルテ ィング事業 (千円)	プライベート・ エクイティ事業 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	22,535,839	14,567,481	270,946	1,766,147	116,005
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,026,371	45,351	2,673	18,400	72,000
計	26,562,211	14,612,833	273,619	1,784,547	188,005
営業利益又は営業損失(△)	1,337,410	133,917	88,260	△101,912	△369,855

	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	2,128,695	41,385,115	—	41,385,115
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,715,025	7,879,822	(△7,879,822)	—
計	5,843,721	49,264,938	(△7,879,822)	41,385,115
営業利益又は営業損失(△)	154,789	1,242,610	(△633,158)	609,451

(注) 1. 事業区分の方法

事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主なサービス

- (1) 持ち帰り弁当事業………弁当・惣菜の製造販売及び製造販売指導並びに食材などの提供
- (2) 店舗運営事業………業務委託型飲食店舗の運営、サブレント等
- (3) 店舗不動産事業………店舗の出店に適した不動産の取得・売却、不動産の管理等
- (4) 店舗コンサルティング事業………業態開発・発掘、店舗運営本部、店舗再生コンサルティング等
- (5) プライベート・エクイティ事業………プライベート・エクイティ・ファンドの運用管理、飲食ビジネスのインキュベーション等
- (6) その他の事業………物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サポート事業、店舗人材関連事業など

3. 追加情報

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」の1.(1)連結の範囲の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間末日よりTRNコーポレーション株式会社及び同社子会社を連結の範囲に含めたため、新たな事業区分として「店舗運営事業」・「店舗不動産事業」・「店舗コンサルティング事業」・「プライベート・エクイティ事業」を設定しております。なお、みなし取得日をTRNコーポレーション株式会社の第1四半期連結会計期間末日である平成20年5月31日としているため、第1四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

〔所在地別セグメント情報〕  
該当事項はありません。

〔海外売上高〕  
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 6. その他の情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)																												
<p>※1. 有形固定資産の減価償却累計額は、6,815,522千円 であります。</p> <p>※2. 担保資産 借入金の担保 担保に供されている資産で、事業の運営において 重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に 比べて著しい変動が認められるものは、次のとおり であります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">2,164,006千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">土地</td> <td style="text-align: right;">7,738,493千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">9,902,499千円</td> </tr> </table> <p>3. 偶発債務</p> <p>(1) 債務保証 金融機関からの借入金に対する債務保証 株楓の木 <span style="float: right;">21,600千円</span></p> <hr style="width: 100%;"/> <p style="text-align: right;">計 <span style="float: right;">21,600千円</span></p> <p>(2) 債務保証類似行為 開業サポート取引における取引保証</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(有)アースプランネット</td> <td style="text-align: right;">1,386千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">若狭朋一</td> <td style="text-align: right;">1,318千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中島信弘</td> <td style="text-align: right;">1,219千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(株)メディカル技研</td> <td style="text-align: right;">533千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">4,458千円</td> </tr> </table> <p>4. 連結子会社2社は、運転資金の効率的な調達を行 うため取引銀行3行(みずほ銀行、三井住友銀行、 りそな銀行)及びその他1社と当座借越契約及び貸 出コミットメント契約を締結しております。 当該契約に基づく当第3四半期連結会計期間末の 借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">当座貸越極度額及び 貸出コミットメントの総額</td> <td style="text-align: right;">3,520,000千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">680,000千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">差引額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,840,000千円</td> </tr> </table>	建物及び構築物	2,164,006千円	土地	7,738,493千円	計	9,902,499千円	(有)アースプランネット	1,386千円	若狭朋一	1,318千円	中島信弘	1,219千円	(株)メディカル技研	533千円	計	4,458千円	当座貸越極度額及び 貸出コミットメントの総額	3,520,000千円	借入実行残高	680,000千円	差引額	2,840,000千円	<p>※1. 有形固定資産の減価償却累計額は、4,029,396千円 であります。</p> <p>※2. 担保に供している資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">165,021千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">土地</td> <td style="text-align: right;">796,051千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">961,072千円</td> </tr> </table> <p>3. 偶発債務 非連結子会社(株楓の木)の金融機関からの借入 金に対する債務保証が、33,750千円あります。</p>	建物及び構築物	165,021千円	土地	796,051千円	計	961,072千円
建物及び構築物	2,164,006千円																												
土地	7,738,493千円																												
計	9,902,499千円																												
(有)アースプランネット	1,386千円																												
若狭朋一	1,318千円																												
中島信弘	1,219千円																												
(株)メディカル技研	533千円																												
計	4,458千円																												
当座貸越極度額及び 貸出コミットメントの総額	3,520,000千円																												
借入実行残高	680,000千円																												
差引額	2,840,000千円																												
建物及び構築物	165,021千円																												
土地	796,051千円																												
計	961,072千円																												

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。	
給料手当	2,924,018千円
貸倒引当金繰入額	45,390千円
賞与引当金繰入額	139,277千円
支払手数料	1,797,446千円
地代家賃	536,916千円
水道光熱費	288,838千円
減価償却費	538,374千円

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は次のとおりであります。	
給料手当	1,101,349千円
貸倒引当金繰入額	2,216千円
賞与引当金繰入額	139,277千円
支払手数料	545,716千円
地代家賃	187,145千円
水道光熱費	101,925千円
減価償却費	166,440千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
※1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸 借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在)	
現金及び預金勘定	8,076,759千円
現金及び現金同等物	8,076,759千円

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	18,685,955
II 売上原価	11,396,626
売上総利益	7,289,328
III 販売費及び一般管理費	
給与手当	2,423,554
賞与引当金繰入	78,945
地代家賃	406,320
支払手数料	845,756
減価償却費	342,007
その他	1,920,020
販売費及び一般管理費 合計	6,016,605
営業利益	1,272,722
IV 営業外収益	
受取利息	102,039
有価証券売却益	4,693
賃貸料収入	128,164
その他	120,935
営業外収益 合計	355,832
V 営業外費用	
支払利息	57,036
有価証券売却損	12,184
賃貸費用	33,375
その他	174,727
営業外費用 合計	277,323
経常利益	1,351,231

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
VI 特別利益	
固定資産売却益	43,970
貸倒引当金戻入	5,305
特別利益 合計	49,276
VII 特別損失	
固定資産除却損	73,492
関係会社株式評価損	3,368,529
特別損失 合計	3,442,022
税金等調整前四半期純損失 (△)	△2,041,515
税金費用	714,813
少数株主利益	32,685
四半期純損失(△)	△2,789,013